

九州大学病院

研修医 大場 未紀 2015年8月

九州大学病院初期研修医2年目の大場未紀と申します。

2015年8月の一ヶ月間、初期臨床研修プログラムの地域医療として、出水総合医療センターで研修をさせて頂きました。

鹿児島は気候と人柄が暖かいイメージがあり、またこれまで本物の鶴を見たことがなかったため、出水での研修を希望させて頂きました。新幹線で出水市に向かう風景の美しさは今も目に焼き付いています。

出水総合医療センターをはじめ、野田診療所、高尾野診療所、上場診療所、出水保健センター、鶴寿会たかおのなど多くの施設で研修を行いました。研修を通じて、スタッフの距離の近さ、内科と外科の連携の素早さ、先生方の臨床能力や技術の高さ、患者さんと気軽に世間話をできる雰囲気大変驚きました。各診療所では、外来での慢性疾患のフォローを中心に経験しました。また、外来に来られる御高齢の患者さんは皆さんとてもお元気で、診察の時に患者さんとする会話が毎日楽しみでした。

往診では、医療機関への受診が難しい方への診療を学びました。家庭や社会背景は様々で、各状況に応じて柔軟な対応が求められました。特に往診と上場診療所では、十分な医療を提供することの難しさを感じました。

院内研修では消化器内科を選択し、吐血、下血、急性胆嚢炎など多くの症例を経験しました。また、上部消化管内視鏡を先生方の指導の下、操作させて頂きました。貴重な経験ができました。その他、内科、外科の連携が大変スムーズだったことに驚き、科と科の垣根の低さの大切さを学びました。

地域医療研修を通じて、プライマリケアの重要性、幅広い医療の知識と技術、限られた医療資源で如何に診療していくか、長期的で横断的な治療計画、医療面以外の患者さんの背景を考へての診療が大切だと感じました。

最後になりましたが、宗清先生、嵯山先生をはじめとする消化器内科の先生方、各科の先生方、各診療所の先生方、サポートして頂いたコメディカルの方々、職員の皆様、特に山下さん、そして貴重な経験をさせて頂いた患者さんに深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。